

8. 人的な事業推進体制の充実

協会は組織経営から事業推進まで幅広い場面に多くの市民が参画している。特に事業推進に直接関与するスタッフを「アソシエーター」(協会=Associationから作った造語)と呼んでおり、2019年度も、ボランティア(のべ168人、実数112人)と有給専従スタッフ(事務局員18人)が協働して事業推進に当たる体制「参加システム」で事業を進めた。具体的には、①個々の事業を企画推進する「チーム」「委員会」「事務局」を核に、②事業部門ごとに「運営委員会」を設け、さらに③経営全般を協議する「常任運営委員会」を開催。④「事務局員」が日常的に事業の“つなぎ役”となる他、⑤年2回、全体会議(11月の「アソシエーター緊急会議」、3月の「事業計画会議」)を開催。アソシエーター全員の協議で事業や組織のあり方を決めるシステムをとり、自治的で開かれた形で運営を進めている。

1. 会員・寄附者の拡大

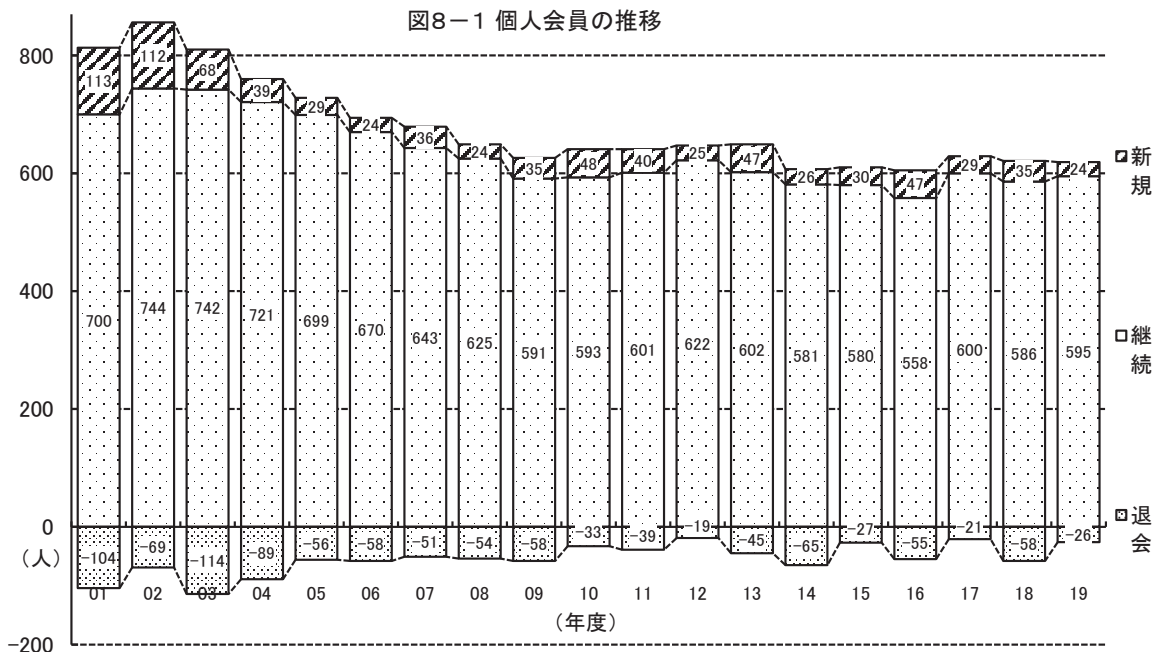
(1) 会員の現況

協会は、その目的に共感する市民が“個人会員”として事業を支える一方、趣旨に賛同いただいた企業などに“賛助会員”として資金的援助を受けている。新規入会は、個人会員・個人賛助会員あわせて29人だったが、退会者が27人となり個人会員総数は微減となった。一方、団体賛助会員(企業)は、新規企業が1社、退会企業が1社となった。なお、特別会員は協会創設以来、多額の助成をいただいている(一財)皓養社・前理事長中納久昭氏である。〔下表で()内は昨年度実績〕

表8-1 2019年度の会員の異動状況(カッコ内は前年同期実績)

	2019年3月	新規加入	退会	2020年3月
特別会員	1人	0人	0人	1人
個人会員	621(644)人	24(35)人	26(58)人	619人
(内、生涯会員)	25(24)人	0(0)人	1(2)人	24人
個人賛助会員	16(15)人	5(3)人	1(2)人	20人
団体賛助会員(企業)	45(47)社	1(0)社	1(2)社	45社
団体賛助会員(非営利)	9(9)団体	0(0)団体	0(0)団体	9団体
合計	692(716)	30(38)	28(62)	694

※個人会員から個人賛助会員、賛助会員から個人会員への変更は、それぞれ新規加入として計上している。



(2) 会員・寄附者拡大に向けた努力

① 会員限定通信誌『CANVAS NEWS』の内容【発行部数1,000部(隔月)】

市民活動スクエア「CANVAS谷町」と大阪ボランティア協会の「今日」をお届けするマガジン「CANVAS NEWS」を会員に隔月で送付した。

4・5月号	団体紹介(あっとすくーる)／定期総会記念講演会(参加者募集)／平成を彩ったチームたち(ボランティアことはじめ講座推進チーム、バリバリ元気天国実行委員会、ITボランティアチーム「むくどり」)／協会の主な5・6月スケジュール／協力感謝
6・7月号	団体紹介(プール・ボランティア、関西NGO協議会)／これがボラ協の歓送迎会だ!!／協力感謝／2019年度入職職員あいさつ／2018年度退職職員あいさつ
8・9月号	団体紹介(日本クリニックラウン協会、日本地ビール協会)／定期総会のご報告／理事長 就任・退任のごあいさつ／協力感謝／協会の主な8・9月スケジュール／災害時のスペシャルニーズ支援ハンドブックができました!
10・11月号	団体紹介(あそびとまなび保育研究会、ダウン症ファミリー総合支援めばえ21)／令和元年 あなたの夏休みは?／協会の主な10・11月スケジュール／協力感謝
12・1月号	団体紹介(かなしみぼすと、日常生活支援ネットワーク パーティ・パーティ)／報告!岡本榮一先生の米寿を祝う会 これからもボランティア・アクションが大事!／協会の主な12・1月スケジュール／協力感謝
2・3月号	団体紹介(避難ママのお茶べり会)／2019年度事業計画会議(ご案内)／これからの25年に向けて!!「阪神・淡路大震災25年事業」を開催しました／次年度の定期総会のご案内／協力感謝／入職しました!／退職しました!

② 寄附および会費自動納入システムの運営

クレジットカード・オンラインシステム、近畿労働金庫、郵便貯金から寄附や会費の引き落としが可能な態勢を整えている。2019年度の利用者は、近畿労働金庫:3人、郵便貯金:23人、クレジット:のべ75人である。

③ 寄附者拡大に向けて

2019年度は、「自助グループ利用応援寄附」「KVネット運営寄附」「蔵書検索システム構築寄附」の3つの事業指定寄附のほか、「災害支援寄附」、および用途を指定しない「一般寄附」を募集した。また、「日本ボランティア・NPO・市民活動年表」改定版発行協賛金としてのご寄附をいただいている。募集の結果は以下の通りである。なお、寄附者名は、「2018年度の援助者および会員」に掲載している。

- ・「自助グループ利用応援寄附」13,000円(2件)、・「KVネット運営寄附」19,000円(6件)、
- ・「蔵書検索システム構築寄附」5,000円(1件)、・「災害支援寄附」147,973円(9件)、
- ・「日本ボランティア・NPO・市民活動年表協賛金」10,000円(1件)、・「一般寄附」1,076,850円(134件)

2. 組織活動

(1) 理事会(第88~92回)の開催

- 【第88回】開催日:2019年6月6日(木)、出席理事:5人、出席監事:2人
議案:①2018年度事業報告および決算について、②2019年度事業計画および第一次補正予算について、③理事および監事の推薦について、④就業規則の改定について、⑤社会福祉充実残額について、⑥第77回評議員会の招集について
- 【第89回】開催日:2019年6月20日(木)、出席理事:4人、出席監事:3人
議案:①理事長の選定について、②業務執行理事の選定について、③常務理事の選定について
- 【第90回】開催日:2019年8月22日(木)、出席理事:6人、出席監事:3人
議案:①評議員の辞任予定者、および評議員候補者の選出について、②参与の委嘱について
- 【第91回】開催日:2019年11月8日(金)、出席理事:6人、出席監事:2人
議案:①2019年度上半期事業報告(案)および上半期収支報告(案)
- 【第92回】新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面による同意の意思表示をもって、理事会の決議があったとみなした。同意書を提出した理事:6人、確認書を提出した監事:3人
議案:①2019年度第二次補正予算(案)、②2020年度事業計画(案)および2020年度予算(案)、③2020年度「ウォロ」編集業務委託の随意契約について、④常任運営委員、および参与の委嘱について、⑤第78回評議員会の招集について

(2) 常任理事会の開催

協会の経営や労務面の課題を日常的に審議し、毎月の常任運営委員会の議案整理と理事会に提案する事項を審議するため、理事長、常務理事、常任運営委員長、事務局長(理事長交代後は、理事長、常務理事・事務局長、常任運営委員長)で「常任理事会」を設置。毎月、開催した。

(3) 評議員会(第77~78回)の開催

- 【第77回】開催日：2019年6月20日(木)、出席評議員：11人、欠席評議員：2人
議案：第88回理事会①、②、③に付した議案の承認
- 【第78回】開催日：2020年3月26日(木)、出席評議員：13人、欠席評議員：0人
議案：第92回理事会①、②に付した議案の承認

(4) 監事会の開催

開催日：2019年5月28日(火)、出席監事：3人
内容：「2018年度事業報告・決算報告」に関し、事業・経理・組織運営面の監査を実施した。

(5) 会員総会(2019年度定期総会)の開催

開催日：2019年6月16日(日)、出席：269人(当日参加52人+委任状提出217人)
内容：第1部=記念講演会「紛争地に平和を築く仕事とは～現地での取り組みと私たちができること～」講師：瀬谷ルミ子(認定NPO法人日本紛争予防センター(JCCP)理事長、JCCP M株式会社取締役)／第2部=①アソシエーター委嘱状交付、常任紹介、②2018年度事業と決算報告(案)、③2019年度事業と予算計画(案)／第3部=会員懇親会

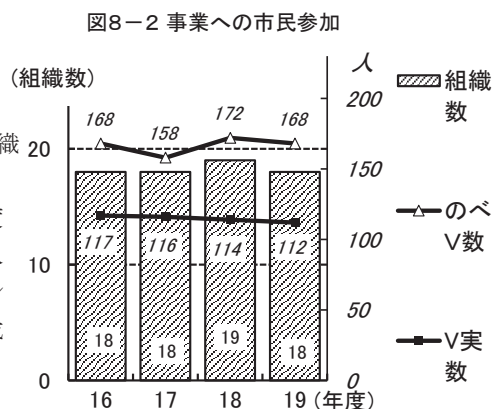
(6) 理事長・常務理事の交代

第89回理事会(2019年6月20日開催)にて、理事長および常務理事の選定を行い、新理事長に早瀬昇、新常務理事に永井美佳が就任した。

3. 市民参加による事業推進

協会事業への市民参加の状況(「参加の場」(チーム・委員会などの組織数)と、参加するボランティアののべ人数)を図8-2に示す。

19年度の協会活動するアソシエーターは、のべ217人(昨年度219人)[うち、ボランティアのべ168人(同172人)]、実数112人(同114人)とのべ人数は増加したが、実数は減少した。新たにアソシエーターになった人は12人であったが、今後も更なる人材発掘・育成が必要である。



(1) アソシエーター緊急会議、事業計画会議(アソシエーター総会)の開催

事業活動と組織運営をアソシエーター全員が参加できる場で検討するため2回の会議を開催した。事務局職員の要員不足により、日常業務を円滑に遂行することが困難な状況が続いていたため、2019年度は「一泊創出会議」を中止し、「アソシエーター緊急会議」を開催することとなった。「事業計画会議」ではチーム、委員会、事務局など全事業主体が、それぞれでまとめた19年度実績の評価と、20年度の事業計画・予算案を提案。小グループごとに意見交換と質問・評価シートの記入を行うとともに、全体での討議を通じて、事業の質の向上を図った。協会の事業計画立案はボトムアップ型のスタイルとなっている。

- ◎アソシエーター緊急会議：2019年11月9日(土)、35人参加、場所はCANVAS谷町。ボランティアと職員との協働体制を刷新し、事務局職員の労力をどこにどれだけ投入すべきか、ボランティアの力をこれまで以上にどう事業運営に活かすかを考え、集中と選択を行うことで持続可能な運営体制の構築をする、新しい参加システムのあり方を考えた。
- ◎事業計画会議：2020年3月20日(金・祝)～21日(土)、36人参加(うち、オンライン参加1人)、場所はCANVAS谷町。各チーム・委員会ごとの事業報告と計画を発表し、意見交換を行った。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、オンラインでの参加も可能とし、日帰りでの参加で、懇親会は中止とした。

(2) 常任運営委員会 (委員長・上林康典、委員V15人、委員職員2人)

協会事業全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な経営協議の場として組織している。2015年度以降は、財務・基金運営委員会の休止を受けて、財務検討の場としても機能している。2019年度は、毎月開催した(定例日原則第4木曜、19時～21時、CANVAS谷町)。なお、委員でない事務局員も発言可能なオブザーバーとして参加し、勤務扱いとしている。

＜委員＞上林康典(委員長)、楠正吉、谷水美香(以上、副委員長)、稲田千紘、井上小太郎、岡本友二、小林義彦、田中宏和、西江孝枝、早瀬昇(6/20まで)、藤原麻佐代、増田宏幸、水谷 綾、村岡正司、森本聡、永井美佳、江渕桂子
(委嘱者)牧里每治(6/20まで)、早瀬昇(6/21から)
(オブザーバー)岡本榮一(顧問)、磯野太郎、藤原正規、梅田純平、椋木美緒、船越智絵、谷垣哲也、青山織衣

＜主な審議・協議内容＞ 【重点タスク】「働き方改革」、「ファンドレイジング」、「人材育成強化」、「合宿会議の持ち方」／【常任運営】常任が知っておきたい業界の動き、拡大常任・センター運営委員会の持ち方についての意見交換、2020年度常任運営委員継続確認・候補者の推薦・開催日程、2019年度事業報告と2020年度事業計画／【三大会議と参加型運営】一泊事業計画会議の議長団総括報告・今後の改革に向けた提案、2019年度定期総会の企画・役割分担・寄せられた意見提案の対応、一泊創出会議の持ち方と議長団の選出、2020年度定期総会記念講演会の持ち方や講師・総会の企画案、一泊事業計画会議の持ち方と議長団の選出／【組織】一泊事業計画会議で組織・財政に対して寄せられたコメントについて意見交換、事業の実績評価と計画達成のための戦略検討、協会創立55周年の実施有無、2019年度事務局緊急事態宣言と下半期事業計画の見直し、アソシエーター緊急会議の企画・ふりかえり・協議結果の今後の取扱い、緊急事態に伴う各チーム・委員会への説明会の持ち方、『『ポスト50年』行動宣言』の中間評価の行い方、「CANVAS NEWS編集委員会」の現状共有と「CANVAS NEWS」の今後のあり方、協会の「見える化計画」(仮)の進め方／【人事】職員募集要項案や事務局体制のつくり方／【財政】2018年度決算案および2019年度第1次補正予算案の承認／【計画にない新規事業の承認】G20大阪市民サミット全体宣言および各分科会のポジションペーパー・提言案・協会名義での賛同可否、「阪神・淡路大震災」および「阪神・淡路大震災被災地の人々を応援する市民の会」25年行事の実施有無・企画／【災害等対応】「令和元年台風19号」被害にかかる災害支援活動の方針、新型コロナウイルス感染症にかかる対応協議 など

(3) 法人コミュニケーションチーム (チーフ・井上小太郎、V4人+職員3人)

団体賛助会員・非営利会員とのコミュニケーションを強化し、関係の維持・拡大を目指すため、財務・基金運営委員会から分離して2014年度に新たに設置。2019年度は年3回開催した。

＜委員＞井上小太郎(チーフ)、岡本繁樹、早瀬昇、森田正紀、永井美佳、江渕桂子、谷垣哲也

＜主な協議内容＞団体賛助会員・非営利会員の訪問分担、新規会員獲得に向けた検討など

(4) ボランティア・NPO推進センター運営委員会 (委員長・谷水美香、V10人+職員4人)

協会事業(ボランティア・NPO関連事業)全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な運営協議の場として組織している。19年度は委員会を7回、ワーキンググループを1回開催した。

関連事業の進捗状況などのチェックや、NPO支援の見直し・今後の在り方について、議論を行った。またボランティア・NPO関連事業、CANVAS谷町(貸会議室)の運営についても検討を行った。

＜委員＞谷水美香(委員長)、岩本裕子、椎名保友、杉浦健、杉本亜希子、立小川剛、筒井のり子、濱道俊成、南多恵子、村岡正司、青山織衣、永井美佳、梅田純平、椋木美緒

＜主な協議内容＞VNC事業の骨格と方向性、ボランティア・NPO関連事業の検討、貸会議室支援メニューなど

・コーディネーション部会 (部会長・青山織衣、V7人+職員4人)

運営委員会のテーマ別部会の一つとして設置。主としてコーディネーション事業の戦略を検討したり、事業の進捗管理、評価等を担う。

＜委員＞青山織衣(部会長)、岩本裕子、椎名保友、立小川剛、谷水美香、筒井のり子、濱道俊成、南多恵子、梅田純平、永井美佳、椋木美緒

(5) 企業市民活動推進センター運営委員会(委員長・楠正吉、V7人+職員3人)

企業市民活動の推進を図るため、企業市民活動推進センター(CCC)の戦略と事業全般の企画立案、推進、評価を行うために設置。19年度は、年5回の運営委員会を開催。

<委員>楠 正吉(委員長)、井上小太郎、江本雅朗、小林義彦、塩川恵造、中川智子、原田京子、永井美佳、江渕桂子、谷垣哲也

<主な協議内容>2019年度のCCC事業の進捗確認、CCC事業のサービスメニュー整理と有料化の実施・検証、新規会員制度の創設検討、2019年度の事業評価と2020年度計画など

(6) 災害支援委員会(委員長・森本聡、V7人+職員3人)

大地震や異常気象による災害が予想される中、協会としてどう備え、どう対応するかを考える部門として、「災害支援委員会」を2014年に新設。19年度は委員会を6回、ワーキンググループを2回開催した。

<委員>森本聡(委員長)、楠正吉、紺屋仁志、水谷綾、谷水美香、梅田純平、谷垣哲也、永井美佳(オブザーバー) 井上小太郎、入江由美子

<主な協議内容>実災害支援、災害支援方針と協会BCP(事業継続計画)のあり方検討、など

(7) ボランティアリズム研究所運営委員会(委員長・岡本仁宏、V7人+職員2人)

協会の研究部門として、社会的孤立が発生する問題構造と解消への道筋の理論化、ボランティア・NPO・市民活動に関する歴史の保存、NPOの調査・研究能力向上などに取り組んでいる。19年度は8回開催した。

<委員>岡本仁宏(所長、委員長)、井上小太郎、岡本榮一、工藤宏司、藤井渉、牧口明、早瀬昇、永井美佳、船越智絵

<主な協議内容>『ボランティア・NPO・市民活動年表』を読む会、市民セクターの次の10年を考える研究会、調査セミナー事業の企画など

(8) チーム・専門委員会などの活動(7チーム・3委員会、ボランティアのべ106人)

ボランティアスタッフが直接推進している事業は、推進チーム、専門委員会などを組織して企画・運営している。各チーム、専門委員会の名称などは以下のとおりである。

- ①. ボランティアスタイルチーム(チーフ・玉利数正、V15+職1人。月1回)
- ②. 「“裁判員ACT”裁判への市民参加を進める会」チーム(チーフ・磯野太郎、V23+職1人。月1回)
- ③. CANVAS谷町のデザインチーム「たにまちっく」(チーフ・谷水美香、V5+職1人。月1回)
- ④. CANVASよるがくチーム(チーフを決めず、V6+職2人。随時)
- ⑤. SUG(スグに動く災害支援チーム)(チーフ・紺屋仁志、V5+職1人。随時)
- ⑥. ボランティア・市民活動ライブラリー運営チーム(チーフ・久保友美、V5+職1人。月1回)
- ⑦. 「ウオロ」編集委員会(委員長・増田宏幸、V26+職2人。年8回)
- ⑧. 「ウオロ」発送チーム(チーフを決めず、V12+職2人。年6回)
- ⑨. 「CANVASNEWS」編集委員会(委員長・西江孝枝、V4+職1人。隔月1回)
- ⑩. アソシエーター活性化委員会(委員長・上林康典、V5+職1人。随時)

(9) アソシエーター研修

「アソシエーター活性化委員会」が企画運営主体となった、アソシエーター基礎研修は、2019年度は事務局の緊急体制にあったため、開催を見送った。

4. 事務局体制の充実**(1) 職員研修の実施**

- (1回目) 開催日: 2019年9月18日(水) 参加者: 職員9人
内 容: 担当事業の現状評価と今年度末の目標
- (2回目) 開催日: 2019年12月24日(火) 参加者: 職員6人
内 容: 就業規則の改定に向けて、職員の働き方を考える(その1)

(3回目) 開催日: 2020年2月5日(水) 参加者: 職員7人
内 容: 就業規則の改定に向けて、職員の働き方を考える(その2)

(4回目) 開催日: 2020年2月12日(水) 参加者: 職員3人
内 容: 「働き方改革法改正」について、質疑応答など
講 師: 筒井正幸(社会保険労務士)

そのほか、『リサーチ&アクション・セミナー2019 市民活動の実践を科学する力をつける「科学的調査で活動バージョンアップ-実践者と研究者の協力はこんなにすごい!』』などの一般向けの講座・セミナーにも、各職員が研修として参加している。

(2) 事務局マネージャー会議の設置

事務局運営の円滑化をはかるため、事務局長、事務局主幹の2人で、随時開催。事務局体制の検討や職員研修の企画、労務や法人事務、事務局会議での検討事項の整理にあたった。

(3) 2019年度の事務局体制

2019年度に事務局業務に従事した有給スタッフとボランティアは、以下のとおりである。常勤職員7人、非常勤職員15人であり、雇用形態別では正職員6人、出向職員1人、嘱託職員3人、アルバイト12人であった(入退職あり。以下、敬称略)。

※ ボランティアをVと略記

早瀬 昇(理事長)

【正職員】 永井美佳(常務理事・事務局長・統括会計責任者・公正採用選考人権啓発推進員; 全体統括・渉外、法人、財務・給与、人事・労務管理、常任理事会・常任運営委、ウオロ、裁判員ACT、たにまちつく、3.11実行委、まちなか被災、うめきた朝ガク、民ボラ、G20/C20サミット、ネットワークング等)、江渕桂子(事務局主幹; 総務統括、労務統括、会員・寄附統括、CCC統括、企業企画相談、阪急阪神ゆめまち助成、CV統括、総務、データベース構築等)、梅田純平(事務局主任; V・NPO推進センター統括、団体支援・団体支援研修、寄附寄贈推薦、SAVE JAPAN、ろうきんパートナー制度、後援名義、災害支援統括、積水マッチングプログラム、タケダ・NPOサポートプログラム、府共募、ウェブサイト更新、情報システム管理、代表メール管理等)、椋木美緒(市福祉Vコーディネーション事業統括、Vしたい・求む相談、インクルーシブV研究、KVネット統括・リニューアル、VCO基礎研修、大学VC協議会、ボランティアスタイル、よるがく、真如苑助成、アソシエーター活性化、トヨタ参加研究会等)、林寛人(10月末退職: データベース構築等)、船越智裕(講師派遣調整、ボランティアリズム研究所、ウオロ、出版・編集、ライブラリー、CVニュース、JVCA3級検定等)、谷垣哲也(4月より出向: フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム、CCC運営委、CCC相談、災害支援委、団体賛助・法人コミュニケーション、VCO基礎研修、よるがく等)

【嘱託職員】 塩谷邦子(出納職員; 経理、社会保険、稟議管理等)、岩本恭典(市福祉Vコーディネーション・生徒と福祉)、青山織衣(1月より入職: CO部会、市福祉Vコーディネーション、相談統計、インクルーシブV研究会、はじV説明会等)

【アルバイト】 山下輝夫(CANVAS窓口、新聞PDF化)、岡村豊子(出版・ウオロ販売管理、新聞PDF化、庶務等)、松尾里香(9月末退職: CANVAS窓口、CV情報管理、KVネット情報更新・記事加工、メルマガ、V保険、後援名義、消耗品発注管理、リンク補助、講師派遣事務補助等)、梅原聡(市福祉Vコーディネーション、活動希望者相談、SNS・メルマガ情報発信、学生チーム企画運営等)、小林政夫(4月より随時: 災害時のスペシャルニーズ支援ハンドブックと大阪府北部地震支援活動報告書の配布)、陳代修平(4月より入職: CANVAS窓口、総務補助等)、山科圭子(5月より入職: 個人会員、寄附等)、杉浦健(5月より入職: 市福祉Vコーディネーション、活動希望者相談、KVネット情報更新・記事加工、メルマガ等)、藤原麻佐代(7~10月: 真如苑過去申請書等PDF化)、木下通理(9月より入職: CANVAS窓口、総務補助等)、吉岡睦伸(9月より入職: CANVAS窓口、新聞PDF化)、森本莉永(10~12月: 総務補助等)

【ボランティア】 [事務局支援(新聞切抜、電話当番、事務局補助等)] 石原光、丈島崇、華房ひろ子、林寛人(11月より)

なお、2019年4月より船越が正職員となり、2020年1月16~31日に梅田が育児休業を取得した。

この他にも日常的に多くの方々にボランティアとして事務局業務にご協力いただきました。ありがとうございます。